

なかふくら

～花と作文とあいさつの学校～



南九州市立中福良小学校

「まちづくり大相撲」に期待 棒踊りの復活

校長 折田 明世

中福良小学校に赴任した令和元年度の秋、迫瀬戸山の敬老会に招待して頂きました。敬老会では様々な出し物がありました。その中で印象に残ったのは、棒踊りでした。

公民館のステージは広くないため、少ない人数で踊っていました。他の方々も、側面でかけ声を出していました。

「敬老会で披露すれば、毎年必ず踊ることになるから、伝統文化が継承されます。いいアイデアですね。」

と話しました。

中福良集落でも棒踊りがあるのは聞いていたので、

「迫瀬戸山は敬老会で毎年棒おどりを披露していますよ。中福良でもそうすれば、これからもずっと継承できるのではないですか。」

と話すと、

「棒踊りを踊った後、衣装をクリーニングに出すと、7万円かかる。だから、できないんだ。」

と説明されました。クリーニング代が捻出できないから、伝統文化が消えていく。おかしな話だが、それが現実です。

せっかくの伝統文化。地域の感謝祭と合同の学習発表会で、迫瀬戸山と中福良の2集落が交代で披露してくれたら華やかになるのになあと思い、実現できないか模索しました。しかし、コロナ禍になり、実現しませんでした。

それが、本年度、「まちづくり大相撲 南九州場所」が企画されました。地区公民館の活動促進が目的です。この事業の魅力は、賞金として、活動の資金が支給されることです。これでクリーニング代が捻出できます。そこで、中福良公民館と学校の共同企画で、地区の伝統文化を後世に受け継ぐ「教育・文化」の分野で応募しました。

校長室に、「中福良校区の文化」という本があります。その本のあとがきに、次のように書いてありました。

今、私たちが生活できているのは、過去の人々のあらゆる知恵と努力の恩恵の上に生きていることを忘れてはならない。私達は次代の人々のために、今の文化をしっかりと継承していく責務がある。

伝統文化は、意図的・計画的に進めていけないといけないと実感しました。自治会長さんが全員集まって応募するかどうかを話し合った際に、

「とてもいいことだ。協力しますよ。」

と快諾して下さったことに感激しました。このように、行政の力を借りて伝統文化を継承していく機会を与えていただいたことに感謝し、活動を行っていきたいと思います。



6月に入り、各学級水泳学習が始まりました。そして、先週の水泳学習発表会では、子どもたちの水泳学習の成果を見ていただくことができました。多くの方々に参観していただきました。ありがとうございました。



水 泳 学 習

人 権 旬 間



人権集会で各学級から目標の発表がありました。人権は人が生まれながらにして持つ権利です。

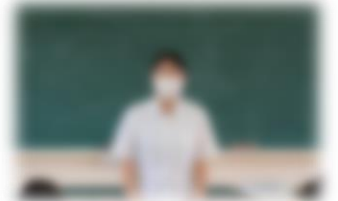
様々な人権に関する問題が起こっていますが、誰も幸せで平和に暮らすために人権感覚をもって暮らし、子どもたちを育てていきましょう。ぜひご家庭でも話をされてみてください。

教 育 実 習

6月6日(月)から6月17日(金)2週間、
から本校卒業生の

先生の教育実習が行われました。

所属学年は5・6年生で、社会の授業を研究授業で行いました。毎日、教材研究や授業参観だけでなく、子どもたちと昼休みに活動したりして有意義な実習になったかと思います。



◆ 8月の行事予定 ◆			◆ 9月の行事予定 ◆		
1	月	出校日	1	木	2学期始業式
12	金	学校閉庁日(～15日)	6	火	ゆめさとタイム
19	金	出校日	8	木	授業参観 学級PTA
26	水	合同運動会全体検討会(予定)	20	火	運動会予行練習
28	日	PTA愛校作業	25	日	地区合同運動会(未定) 26日振替休日